

錯体化学研究室セミナー

日 時 令和2年2月4日(火) 13:00～14:00

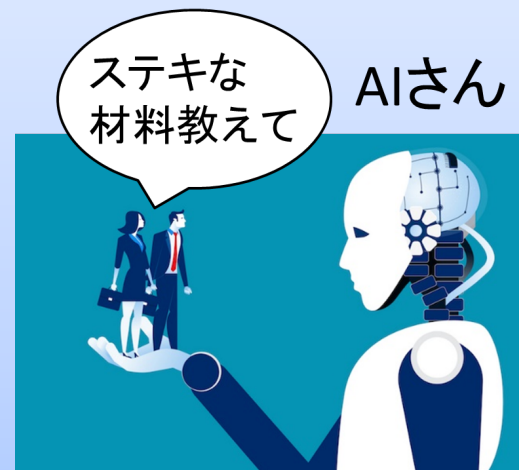
会 場 38号館 2階 多目的利用室

講 師 中山 将伸 教授 (名古屋工業大学 環境セラミックス分野)

「人工知能AIは蓄電池材料を創成するか？ 可能性と展望」

近い将来の環境・資源・エネルギー問題に対して重要な役割を担うとされる蓄電池の開発は待ったなしである。その開発の成否は優れた材料の発見に委ねられており、また開発の律速にもなっている。

材料の世界では、この10年間に材料開発のスピードアップを目指して、データ科学を活用した材料創成の研究が進められてきた。言い換えれば、人工知能AIが材料を開発するというコンセプトである。本講義では、主に学生を対象としてデータ科学を利用した蓄電池材料の開発現状を、我々の研究事例を題材にして、現状を紹介する。



20XX年の材料開発？